

無線通信が支える次世代交通・輸送システム

■趣旨

少子高齢化による人手不足、都市部への人口集中に伴う混雑、大気汚染やエネルギー消費などの直面する課題に対し、自動車の自動運転や鉄道の自動運行システムの検討・実証が世界中で盛んに行われている。また、山間部等の過疎地域における輸送を解決する手段としてドローンへの期待も高まっている。次世代の交通・輸送には、情報通信を活用した効率化と安全性の向上に加え、より快適な移動空間を提供することも期待されており、その実現に向けて無線通信が果たす役割は重要と考えられる。「移動」をテーマとした産業の変革 (MaaS: Mobility as a Service) が提唱される中、本特集セッションでは、次世代の交通・輸送システムとそれを根幹から支える無線通信について議論する。

■日程：2019年4月18日(木) 午後 + ナイトセッション

■依頼講演 5件：

- ・静岡大 石原先生「突発的障害物回避のための車々間通信による協調型車線変更制御」
 - ・日立 眞下様「セルラ通信品質を考慮した自動運転車遠隔制御方式」
 - ・鉄道総研 中村様「100GHz帯ミリ波による対列車通信システムのフィールド試験」
 - ・JR西日本 森様「列車制御における無線技術の活用と今後の展望」
 - ・東北大 川本先生「無人航空機システムにおける周波数利用効率向上のための資源割当制御技術に関する研究動向」
- ※本セッションのご講演者の方々には、ナイトセッションにもご参加をお願いいたします。

■ナイトセッション：19:30(予定)～ 座長 福岡大 太郎丸先生